

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
国立駅周辺地区

令和2年10月

東京都国立市

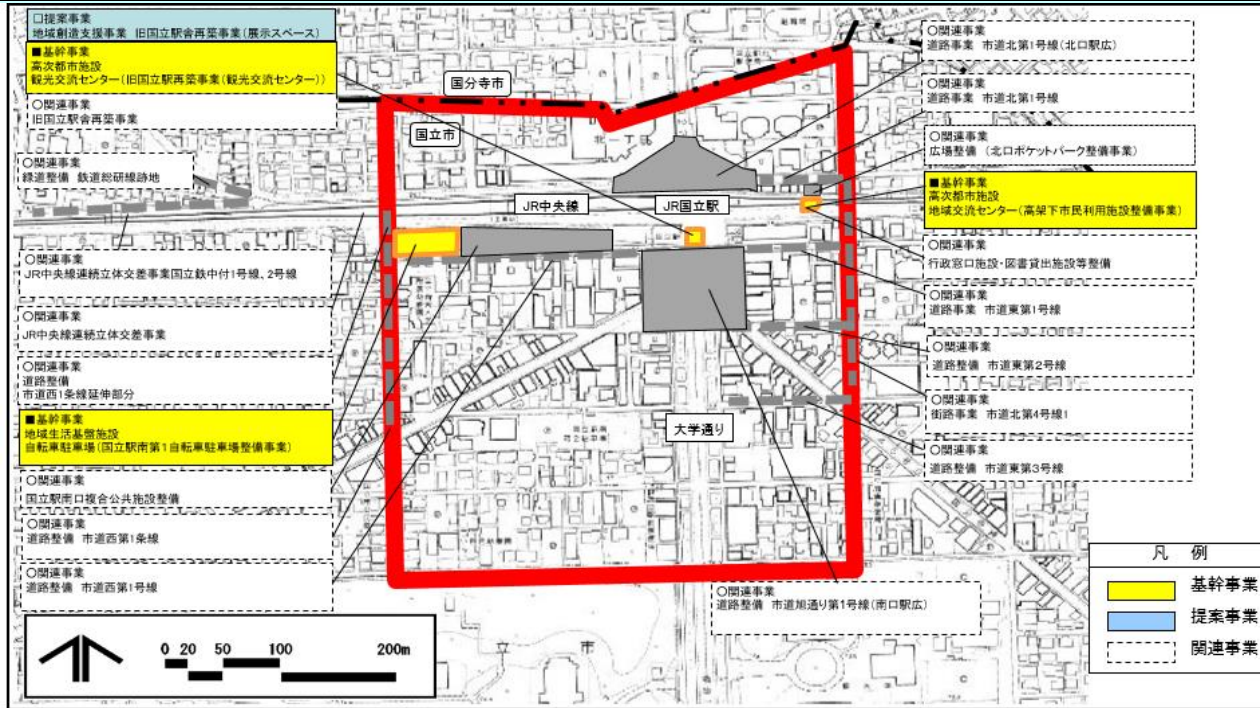
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	東京都		市町村名	国立市		地区名	国立駅周辺地区			面積	18.9ha		
交付期間	平成27年度～平成31年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	1761.2百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	自転車駐車場整備、観光交流センター整備、地域交流センター整備										
		提案事業	旧国立駅舎再築事業(展示スペース)の整備										
	当初計画から削除した事業	事業名			削除/追加の理由				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
		基幹事業											
		提案事業	国立駅周辺地区事後評価				指標の確認する作業を市職員が独自に実施するため。				影響なし		
		新たに追加した事業	基幹事業										
交付期間の変更	当初												
	変更	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	市の歴史や魅力に関連した商品の種類	個	33	H26	37	H31	モニタリング	評価値	○	あり	旧国立駅舎ができたことで、市の魅力ある商品の販売の促進や、新たな商品開発につながった。また、旧国立駅舎内の一部にまちの案内所を設置しており、そこで販売するために、新たな商品が生まれた。	-
								-	42		なし		
	指標2	自転車の放置率	%	1.8	H26	1.5	H31	-	0.2	○	あり	事業により南口第1駐輪場の収容台数は1620台から2605台に増加した。放置自転車対策の啓発活動との相乗効果により国立駅周辺の放置自転車台数は大きく減らすことができた。	-
											なし		
	指標3	市民交流を目的にしたイベント回数	回	0	H26	12	H31	-	25	○	あり	旧国立駅舎および高架下市民利用施設の建設による市民交流の場や市民生活・活動を支える施設ができたことで、新たなイベントの開催につながった。	-
なし													
指標4										あり			
指標5										あり			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況							今後の対応方針等		
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	駅前報告会を実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							●	今後も事業の進捗状況を含めて年1回程度実施していく。		
	持続的なまちづくり体制の構築	旧国立駅舎運営連絡会	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							●	継続的に開催し、持続的なまちづくり体制を推進していく。		

様式2-2 地区の概要

国立駅周辺地区(東京都国立市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
気軽に憩い、交流することで活気を生み、歴史や地域の魅力を市内外に発信し、景観を大切にしたい国立らしさに溢れたまちを実現する。	市の歴史や魅力に関連した商品の種類	単位: 33 H26	37 H31	42 R2
	自転車の放置率	単位: 1.8 H26	1.5 H31	0.2 R2
	市民交流を目的としたイベント回数	単位: 0 H26	12 H31	25 R2
		単位: H	H	H
		単位: H	H	H



まちの課題の変化	旧国立駅舎の再築、高架下市民利用施設整備、自転車駐車場の整理を通じ、市民や来訪された方が気軽に憩い、交流できる場を創出し、地区内における市民生活の活動の充実を図るとともに、新たなイベントやにぎわいの創出、歴史や地域の魅力を市内外に発信していくことでまちの活性化につなげていく。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 駅前市民プラザを活用して、市民交流を目的として市民や来訪者が気軽に憩い、楽しみが享受できるイベントなどを実施することで、南北間の新たな交流機会の創出や市民生活や活動の充実を図っていく。 市のシンボルとして復元された「旧国立駅舎」を活用して、人々の憩いの場を提供することや、まちの魅力等の情報発信、イベントなどを行っていくことで、まちのにぎわいの創出を図っていく。 自転車駐車場の設置により、放置自転車を現状させ、国立らしい景観を形成していく。